

令和5年度 真津山小校区語らん場

「楽しい真津山地区づくり!」を目指し、今年度も令和5年9月28日に貝津公民館にて、多くの住民の皆様の参加を得て開催しました!



地域の事を“我が事”として、「**支えられる側の気持ち**になって考えよう!」を念頭に参加者間で意見交換を行いました!

“自分の5年後・10年後”の生活を想像すると、自分たちのための**支え合い・地域づくり**であると改めて気づくね!



サロンや集いの場の“かたち”にこだわらず、話しやすく交流できる雰囲気・距離感が大切。会話だけでもいい、それが活動の継続につながるし、世話人の負担軽減にもなるのでは?



“**語る**”に重きを置いた**グループワーク**を実施!

まずは“声かけ”地域で支え合い、自助・互助で頑張りましょう! 地域活動の世話人は自分が楽しむことが大切、長続きの秘訣です。そして自分の健康(フレイル予防)にも注意して「楽しい真津山地区づくり」にみんなで取り組みましょう!



運転免許返納時に備え、歩いて行く練習をしています! 地域活動の担い手をできる限り続けていきたい! 地域の「集い」を活用した世代間交流で、次の世代への“つなぎ”も考えなくては…



運転ができなくなると外出・買い物が困る。地域での支え合いが必要では? また誰でも集える活動があれば良いのでは? 男性が興味を持つような釣りやゴルフを取り上げるのも一つの案かも! 地域の情報発信もしていかななくては…



生活支援コーディネーターとして、語らん場での意見交換や情報について自地域に持ち帰り拡げてもらうことで、地域活動(支え合い)についての情報交換ネットワークの構築により、興味を持つ方が増えるよう取り組みます。また支え合い活動等の創出に向け、今後も住民の皆さまの悩みに寄り添いお手伝いしてまいります!

地域に合わせた取り組みを一緒に考えましょう!

作成; 諫早市西部地区生活支援コーディネーター 北原 國義
(諫早市西部地域包括支援センター TEL:0957-43-3330)